

## 今月のトピックス

- | インフルエンザが昨シーズンより 5 週遅く、警報解除基準値(定点あたり 10.00)を下回りました。
- | A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告が例年より多くなっています。
- | 流行性耳下腺炎の報告が例年より多い状態が続いています。
- | 流行性角結膜炎の報告が例年より多くなっています。

## 全数把握の対象

## 【4 月期に報告された全数把握疾患】

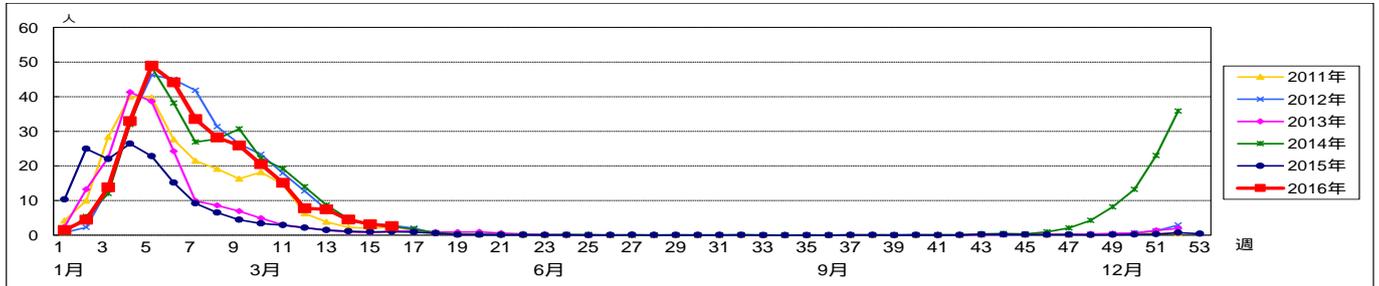
腸管出血性大腸菌感染症	1 件	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3 件
E 型肝炎	1 件	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1 件
デング熱	1 件	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 件
レジオネラ症	5 件	侵襲性肺炎球菌感染症	12 件
アメーバ赤痢	3 件	水痘(入院例に限る)	3 件
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2 件	梅毒	9 件
急性脳炎	3 件	風しん	2 件

- 1 **腸管出血性大腸菌感染症**: 1 件の O111 VT1 の報告があり、海外(フィリピン)での経口感染が推定されています。
- 2 **E 型肝炎**: 1 件の報告がありましたが、感染経路等不明でした。
- 3 **デング熱**: 1 件の報告があり、海外(パラグアイ)での感染が推定されています。
- 4 **レジオネラ症**: 5 件の肺炎型の報告があり、うち 2 件は神奈川県の水系感染と推定、1 件は静岡県の水系感染と推定、2 件は神奈川県で感染経路等不明でした。
- 5 **アメーバ赤痢**: 腸管アメーバ症 3 件の報告があり、1 件は海外(中国(上海))での経口感染、もう 1 件は国内での経口感染が推定され、さらにもう 1 件は神奈川県または海外(ベトナムまたは韓国)での経口感染が推定されています。
- 6 **カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症**: 2 件の報告があり、神奈川県での手術部位感染、1 件は感染経路、感染地域不明です。
- 7 **急性脳炎**: 2 件の幼児、1 件の児童の報告がありました。いずれも病原体不明です。
- 8 **劇症型溶血性レンサ球菌感染症**: 2 件の高齢者の報告は国内での創傷感染が推定され、もう 1 件の成人例は感染経路等不明でした。
- 9 **侵襲性インフルエンザ菌感染症**: 成人例 1 件の報告がありました。ワクチン接種歴は確認できませんでした。
- 10 **侵襲性髄膜炎菌感染症**: 高齢者の報告が 1 件ありました。感染経路は不明で、共同生活ではありませんでした。
- 11 **侵襲性肺炎球菌感染症**: 幼児は 1 件の報告があり、4 回のワクチン接種歴が確認されました。成人例は 2 件の報告があり、いずれもワクチン接種歴は確認できませんでした。高齢者は 9 件の報告があり、うち 1 件は 1 回のワクチン接種が確認され、もう 8 件はワクチン接種歴が確認できませんでした。
- 12 **水痘(入院例に限る)**: 成人例の報告が 2 件、高齢者の報告が 1 件あり、いずれもワクチン接種歴は確認できませんでした。
- 13 **梅毒**: 9 件の報告(早期顕症梅毒 期 2 件、早期顕症梅毒 期 4 件、無症状病原体保有者 3 件)があり、うち 8 件が国内感染例で、1 件は感染地域不明でした。感染経路はいずれも異性間の性的接触でした。
- 14 **風しん**: 40 歳代男女の検査診断例の報告が 1 件ずつありました。いずれもワクチン接種歴は確認できませんでした。

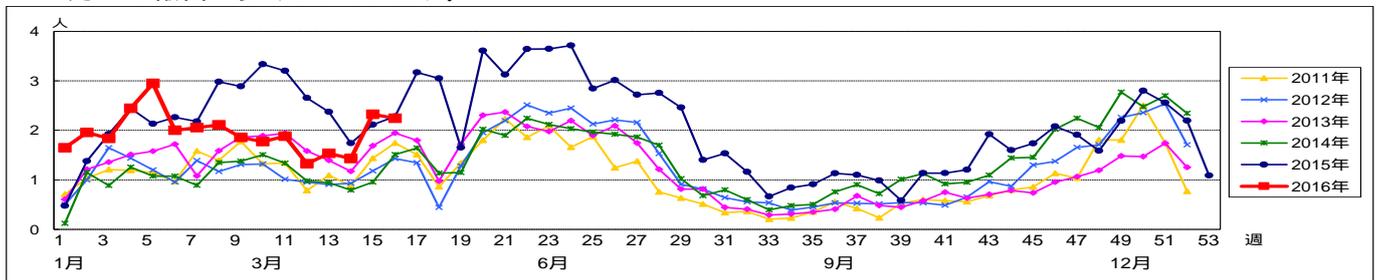
## 定点把握の対象

平成 28 年 週 - 月日対照表	
第 12 週	3 月 21 日 ~ 27 日
第 13 週	3 月 28 日 ~ 4 月 3 日
第 14 週	4 月 4 日 ~ 10 日
第 15 週	4 月 11 日 ~ 17 日
第 16 週	4 月 18 日 ~ 24 日

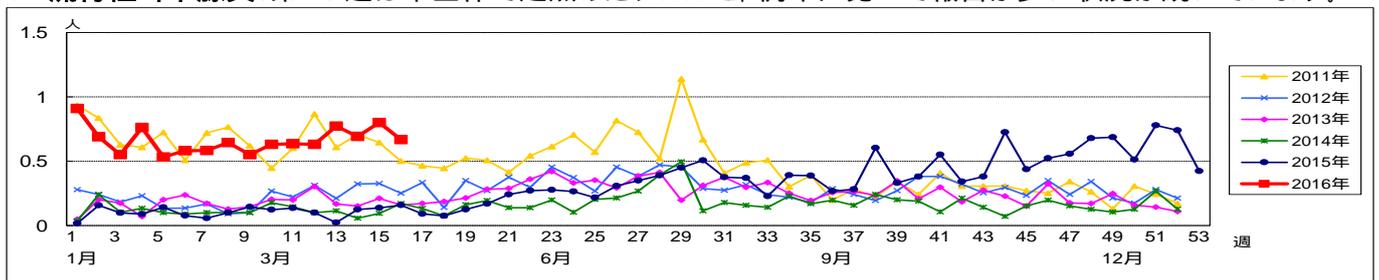
- 1 **インフルエンザ**:第 12 週(3 月 21 日 ~ 27 日)の定点あたりの患者報告数が横浜市全体で 7.76 となり、昨シーズンより 5 週遅く警報解除基準値(定点あたり 10.00)を下回りました。第 12 週、第 13 週(3 月 28 日 ~ 4 月 3 日)の区別では 10.00 を上回っている区もありましたが、第 14 週(4 月 4 日 ~ 10 日)ではすべての区で 10.00 を下回りました。



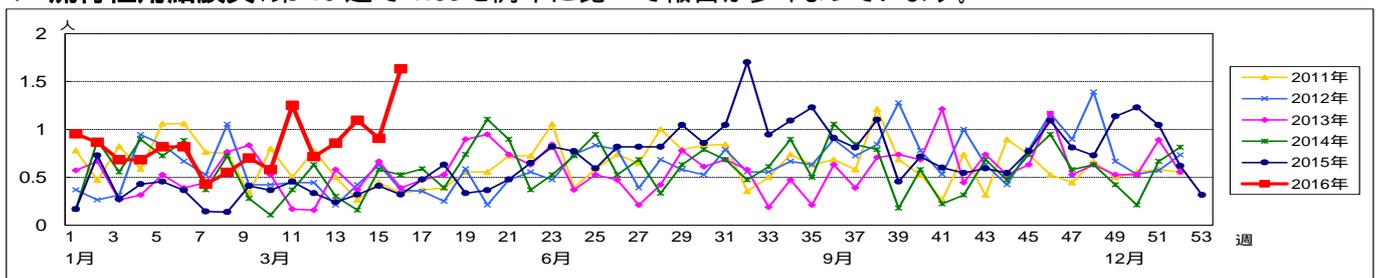
- 2 **A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎**:第 14 週までは減少傾向でしたが、第 15 週で 2.32、第 16 週で 2.24 と例年に比べて報告が多くなっています。



- 3 **流行性耳下腺炎**:第 16 週は市全体で定点あたり 0.67 と、例年に比べて報告が多い状況が続いています。



- 4 **流行性角結膜炎**:第 16 週で 1.63 と例年に比べて報告が多くなっています。



- 5 **性感染症**:3 月は、性器クラミジア感染症は男性が 23 件、女性が 9 件でした。性器ヘルペス感染症は男性が 3 件、女性が 8 件です。尖圭コンジローマは男性 5 件、女性が 3 件でした。淋菌感染症は男性が 13 件、女性が 1 件でした。
- 6 **基幹定点週報**:マイコプラズマ肺炎は第 12 週 0.75、第 13 週 0.00、第 14 週 0.25、第 15 週 0.00、第 16 週 1.00 と報告されています。感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)は第 12 週 0.50、第 13 週 0.00、第 14 週 1.00、第 15 週 0.00、第 16 週 0.50 と報告されています。細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、クラミジア肺炎の報告はありませんでした。
- 7 **基幹定点月報**:3 月はメチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 9 件、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症および薬剤耐性緑膿菌感染症の報告はありませんでした。

この報告とデータの詳細については、下記に掲載されていますので、ご参照ください。  
横浜市衛生研究所ホームページ URL:<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/eiken/>